資料4

市内の環境の状況について

（令和7年度　環境基準達成状況）

目　　次

ページ

１　大気汚染の状況
（１）常時監視 ―――― 1
（２）揮発性有機化合物 ―――― 3
（３）大気中ダイオキシン類 ―――― 3

２　水質汚濁の状況
（１）公共用水域（河川）の水質調査 ―――― 4
（２）地下水の水質調査 ―――― 5

３　騒音の状況
（１）環境騒音（一般） ―――― 5
（２）環境騒音（自動車騒音） ―――― 5
（３）航空機騒音 ―――― 5

表１　環境基準達成状況 ―――― 6
表２　環境基準及び環境目標値適合状況（BOD） ―――― 7
表３　環境基準適合状況（大腸菌数） ―――― 7
表４　環境基準適合状況（pH，SS，DO） ―――― 8
表５　環境基準適合状況（全亜鉛，ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙ，LAS） ―――― 8
表６　PFOS 及び PFOA の市内公共用水域調査結果 ―――― 9
表７　環境騒音（一般）測定結果 ―――― 10
表８　環境騒音（自動車騒音）測定結果 ―――― 10
表９　航空機騒音測定結果 ―――― 12

別紙１　PFOS 及び PFOA の地下水水質調査結果
別紙２　令和８年度 PFOS 及び PFOA の河川水質調査結果

市 内 の 環 境 の 状 況

春日井市では、大気汚染、水質汚濁及び騒音について、市内の環境基準適合状況を、毎年調査している。

令和７年度における個々の項目の調査結果（国や県の実施分を含む）の状況は次のとおりであり、「春日井市環境基本計画」の生活環境に関する指標として掲げられている各環境基準の適合状況については、12 項目を一覧表として６ページの表１にとりまとめた。

１　大気汚染の状況

二酸化硫黄を始めとする常時監視、ベンゼンを始めとする揮発性有機化合物調査及び大気中ダイオキシン類調査を実施している。

（１）常時監視

当市では下津保育園及び高森台地内で、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び光化学オキシダントについて調査を実施している（高森台地内では一酸化炭素についても調査を実施）。

愛知県では勝川小学校と朝宮公園で二酸化窒素などの調査を実施している。

ア　二酸化硫黄　（表１①）

二酸化硫黄の年平均値は、下津保育園で 0.001 ppm、高森台地内で 0.000 ppm であった。環境基準については、日平均値の２％除外値がそれぞれ 0.002、0.000 ppm であり、日平均値が 0.04 ppm を超えた日がいずれも２日以上連続していないため適合している。

イ　二酸化窒素　（表１②）

二酸化窒素の年平均値は、下津保育園で 0.009 ppm、勝川小学校で 0.011 ppm、朝宮公園で 0.009 ppm、高森台地内で 0.004 ppm であった。環境基準については、日平均値の年間 98％値がそれぞれ 0.020、0.023、0.023、0.010 ppm であり適合している。

ウ　浮遊粒子状物質　（表１③）

浮遊粒子状物質の年平均値は、下津保育園で 0.012 mg/m^3、勝川小学校で 0.015 mg/m^3、朝宮公園で 0.014 mg/m^3、高森台地内で 0.012 mg/m^3 であった。環境基準については、日平均値の２％除外値がそれぞれ 0.030、0.034、0.034、0.036 mg/m^3 であり、日平均値が 0.10 mg/m^3 を超えた日がいずれも２日以上連続していないため適合している。

エ　一酸化炭素　（表１④）

高森台地内における一酸化炭素の年平均値は、0.32 ppm であった。環境基準については、日平均値の２％除外値が 0.52 ppm であり、日平均値が 10 ppm を超えた日が２日以上連続していないため適合している。

オ　光化学オキシダント

光化学オキシダントは、昼間の時間帯（５時から 20 時）を評価の対象としており、昼間の年平均値は、下津保育園で 0.033 ppm、朝宮公園で 0.035 ppm、高森台地内で 0.031 ppm であった。環境基準については、「昼間の 1 時間値が 0.06 ppm を超えた時間数」が、それぞれ 393、410、229 時間あり適合していない。

なお、光化学オキシダントが高濃度となったときは、愛知県から光化学スモッグ予報や注意報等が発令される。令和７年度は、当市を含む尾張北東区域において、光化学スモッグ予報が２回発令された（注意報、警報、重大警報は発令されていない）。

（２）揮発性有機化合物　（表１⑤）

４地点（下津保育園、市役所、北城小学校、勝川小学校）において、ベンゼンはじめ４項目について、年４回測定を実施した。

各地点ともすべての項目において、環境基準の値を下回っている。

揮発性有機化合物調査結果（年平均値）　(mg/m³)

測定場所		ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ
下津保育園	６年度	0.0004	<0.0003	<0.0003	0.0007
	７年度	0.0005	<0.0003	<0.0003	0.0011
市役所	６年度	0.0005	<0.0003	<0.0003	0.0010
	７年度	0.0004	<0.0003	<0.0003	0.0012
北城小学校	６年度	0.0004	<0.0003	<0.0003	0.0008
	７年度	0.0005	<0.0003	<0.0003	0.0010
勝川小学校	６年度	0.0006	<0.0003	<0.0003	0.0012
	７年度	0.0004	<0.0003	<0.0003	0.0008
環境基準		0.003	0.13	0.2	0.15

（３）大気中ダイオキシン類　（表１⑥）

１地点（勝川南部学習等供用施設）において年２回測定を実施した。各地点とも環境基準（0.6 pg-TEQ/m³以下）に適合している。

大気中ダイオキシン類調査結果　(pg-TEQ/m³)

測定場所	夏期	冬期	７年度平均値	６年度平均値	環境基準
勝川南部学習等供用施設	0.0090	0.012	0.011	0.010	0.6

２　水質汚濁の状況

（１）公共用水域（河川）の水質調査

市内公共用水域の水質の監視は、水質汚濁防止法に基づき愛知県知事が定める測定計画により、環境基準補助地点として指定されている１地点（八田川御幸）について、年 12 回調査を実施した。

当市及び国土交通省は、上記 1 地点と併せ、市内公共用水域 10 河川１用水の 17 地点について、年４～24 回水質調査を実施した。（庄内川城嶺橋、大留橋、水分橋は国土交通省が調査を実施。）

また、有機フッ素化合物のペルフルオロオクタンスルホン酸（以下「ＰＦＯＳ」という。）及びペルフルオロオクタン酸(以下「ＰＦＯＡ」という。）についても、市内公共用水域 17 地点を対象に５年度より調査を行っている。

ア　健康項目（表１⑦）

人の健康の保護に関する環境基準として健康項目（カドミウム、鉛等）27 項目が定められており、17 地点で調査を実施した。測定したすべての地点で、すべての調査項目について環境基準に適合している。

イ　生活環境項目（表１⑧⑨）

生活環境の保全に関する環境基準が定められている生活環境項目について、庄内川５地点において調査を実施した。

生活環境項目の代表的指標であるＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）の調査結果は表２のとおりであり、５地点全てで環境基準に適合している。また、庄内川以外の河川では、当市が独自に定めている環境目標値を八田川御幸で超過しており、その他の 11 地点では適合している。

大腸菌数の調査結果は表３のとおりであり、Ａ類型の環境基準が適用される城嶺橋で環境基準を超過した。

ｐＨ(水素イオン濃度)、ＳＳ（浮遊物質量）及びＤＯ（溶存酸素量）の調査結果は表４のとおりであり、すべての地点及び項目で、環境基準に適合している。

水生生物等を保全する観点から順次項目が追加されている全亜鉛、ノニルフェノール及びＬＡＳ（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）の調査結果は表５のとおりであり、すべて環境基準に適合している。

ウ　ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ

現時点では要監視項目に位置づけられており、指針値は0.00005 mg/L（50 ng/L）に設定されている。

令和７年度は15地点で調査を実施しており、表６のとおり指針値を下回っている。なお、大留橋及び水分橋は国土交通省が実施しているが、令和８年７月時点では未公表である。

（２）地下水の水質調査（表１⑩）

地下水の水質の監視は、水質汚濁防止法に基づき、愛知県知事が定める測定計画により、市内を約５km メッシュに区切った１地点（高森台）で調査（メッシュ別調査）を実施した。環境基準項目28項目（カドミウム、全シアン等）について調査した結果、砒素及びふっ素において環境基準値を超過した。

３　騒音の状況

（１）環境騒音（一般）（表１⑪）

９地点で調査を実施し、昼間・夜間ともに、全地点で環境基準に適合している（表７）。

（２）環境騒音（自動車騒音）（表１⑫）

16路線27区間で環境基準の達成率を推計する面的評価を実施した。27区間で対象とする全戸数の環境基準達成率は昼間 99.97％・夜間 99.4％となっている（表８）。

（３）航空機騒音

常時測定１地点、短期測定２地点の合計３地点で調査を実施し、短期測定２地点で環境基準に適合している。不適合となった１地点は、愛知県名古屋飛行場周辺の知事が定める地域（対策区域）内の地点であり、住宅防音工事助成対象区域となっている（表９）。

表１　環境基準達成状況

指　標			区　分	測定値	単位	環境基準等	適合地点数 測定地点数	達成率(%)	適合可否
大気	①	二酸化硫黄(SO_2) 日平均の2%除外値		0.000、0.002	ppm	日平均の2%除外値が0.04ppm以下であること。ただし、日平均0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。	2/2	100	○
		超過日数		0	日				
	②	二酸化窒素(NO_2) 日平均値の年間98%値		0.010～0.023	ppm	日平均の年間98%値が0.06ppm以下であること	4/4	100	○
	③	浮遊粒子状物質(SPM) 日平均の2%除外値		0.030～0.036	mg/m^3	日平均の2%除外値が0.10mg/m^{3}以下であること。ただし、日平均0.10mg/m^{3}を超えた日が2日以上連続しないこと。	4/4	100	○
		超過日数		0	日				
	④	一酸化炭素(CO) 日平均の2%除外値		0.52	ppm	日平均の2%除外値が10ppm以下であること。ただし、日平均10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。	1/1	100	○
		超過日数		0	日				
	⑤	揮発性有機化合物 濃度平均値	ベンゼン	0.0004～0.0005	mg/m^3	1年平均値が0.003mg/m^{3}以下であること。	4/4	100	○
			トリクロロエチレン	<0.0003	mg/m^3	1年平均値が0.13mg/m^{3}以下であること。	4/4		
			テトラクロロエチレン	<0.0003	mg/m^3	1年平均値が0.2mg/m^{3}以下であること。	4/4		
			ジクロロメタン	0.0008～0.0012	mg/m^3	1年平均値が0.15mg/m^{3}以下であること。	4/4		
	⑥	大気中のダイオキシン類 平均値		0.011	pg-TEQ/m^3	1年平均値が0.6pg-TEQ/m^{3}以下であること。	1/1	100	○
水質	⑦	健康項目 (庄内川・市内中小河川)		全項目適合	―	27項目設定※1	17/17	100	○
	⑧	生活環境項目 生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値(庄内川)		0.7～3.1	mg/L	2mg/L以下又は5mg/L以下 (河川区域による)	5/5	100	○
	⑨	同(BOD)の75%値 (市内中小河川)		0.6～6.3	mg/L	5mg/L以下(市独自目標)※2	11/12	91	×
	⑩	健康項目(地下水)	メッシュ別調査	2項目不適合	―	28項目設定※3	0/1	0	×
騒音	⑪	環境騒音(一般)	昼間	41～54	ﾃﾞｼﾍﾞﾙ	55～60デシベル以下(地域による)	9/9	100	○
			夜間	35～47	ﾃﾞｼﾍﾞﾙ	45～50デシベル以下(　〃　)	9/9	100	
	⑫	環境騒音(自動車騒音)	昼間	64～72	ﾃﾞｼﾍﾞﾙ	70デシベル以下	10,360/10,363	99 ※4	×
				85.7～100	%				
			夜間	57～69	ﾃﾞｼﾍﾞﾙ	65デシベル以下	10,302/10,363	99 ※4	
				76.5～100	%				

※1:　カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサンの27項目。
※2:　環境基準が適用されない市内中小河川に対し、市が独自に定めている環境目標値。
※3:　※1のうち、シス-1,2-ジクロロエチレンに代わり、1,2-ジクロロエチレン、クロロエチレンを加えた28項目。
※4:　騒音⑫環境騒音(自動車騒音)の達成率は、対象とする全戸数の達成率。

表２　環境基準及び環境目標値適合状況（BOD）

地点		令和5年度		令和6年度		令和7年度		環境基準（水域類型）及び環境目標値	適否
		年平均値	75%水質値	年平均値	75%水質値	年平均値	75%水質値		
庄内川	城嶺橋	1.0	1.2	1.0	1.1	0.7	0.7	2(A)	○
	東谷橋	0.8	1.0	1.0	1.1	0.6	0.7	5(C)	○
	大留橋	1.2	1.4	1.1	1.1	1.2	1.5	5(C)	○
	勝川橋	1.0	1.2	1.2	1.3	1.0	0.9	5(C)	○
	水分橋	3.2	3.7	2.8	3.0	2.6	3.1	5(C)	○
鰄川	鰄川橋	0.6	0.7	1.2	1.1	0.6	0.7	5（環境目標値）	○
内津川	松本橋	0.9	0.9	1.3	1.3	0.8	0.8		○
新繁田川	身洗橋	0.6	0.7	1.1	1.0	0.6	0.7		○
繁田川	大気橋	0.6	0.6	1.1	0.9	0.6	0.6		○
新木津用水	高山橋	2.7	3.5	2.5	1.6	3.0	2.9		○
八田川	新興橋	2.0	2.3	2.6	3.4	2.5	2.6		○
	御幸	5.9	6.4	5.7	6.6	5.4	6.3		×
地蔵川	杁ケ島橋	1.9	2.1	1.4	1.2	2.8	2.5		○
	長塚橋	1.2	1.7	1.6	2.0	1.9	3.3		○
新地蔵川	新地蔵橋	0.9	1.1	1.3	1.5	1.1	1.6		○
大山川	間内橋	1.4	1.6	2.0	2.3	1.3	1.4		○
西行堂川	天王橋	3.1	3.7	3.2	5.0	3.9	5.0		○

備考１　庄内川城嶺橋、大留橋、水分橋の調査機関は国土交通省。

２　環境基準及び環境目標値適合状況については、75%水質値（年間ｎ個の日間平均値を小さいものから並べたとき、0.75×ｎ番目の値）により評価。

表３　環境基準適合状況（大腸菌数）

地点		類型	大腸菌数（CFU/100mL）	備考
庄内川	城嶺橋	A	390（×）	上段:90%水質値 下段:適否
環境基準		A	300以下	
		C	－	

備考１　庄内川城嶺橋の調査機関は国土交通省。

２　環境基準は、90%水質値（年間ｎ個の日間平均値を小さいものから並べたとき、0.9×ｎ番目の値）により評価。

表４　環境基準適合状況（pH、SS、DO）

地　　点		類型	pH	SS (mg/L)	DO (mg/L)	備考
庄内川	城嶺橋	A	7.6 (100%)	2 (100%)	11 (100%)	上段:年平均 下段:適合率
	東谷橋	C	7.4 (100%)	2 (100%)	9.5 (100%)	上段:年平均 下段:適合率
	大留橋	C	7.6 (100%)	2 (100%)	11 (100%)	上段:年平均 下段:適合率
	勝川橋	C	7.2 (100%)	2 (100%)	10 (100%)	上段:年平均 下段:適合率
	水分橋	C	7.4 (100%)	4 (100%)	9.4 (100%)	上段:年平均 下段:適合率
環境基準		A	6.5～8.5	25以下	7.5以上	
		C	6.5～8.5	50以下	5以上	

備考１　庄内川城嶺橋、大留橋、水分橋の調査機関は国土交通省。
　　２　適合率とは、該当地点での総測定日数のうち、環境基準値に適合した日数の割合のこと。
　　３　環境基準は、日間平均値により評価。

表５　環境基準適合状況（全亜鉛、ノニルフェノール、LAS）

地　　点		類型	全亜鉛 (mg/L)	ノニル フェノール (mg/L)	LAS (mg/L)	備考
庄内川	城嶺橋	生物B	0.009 (○)	<0.00006 (○)	0.0012 (○)	上段:年平均 下段:適否
	東谷橋		0.017 (○)	－ －	－ －	上段:年平均 下段:適否
	大留橋		0.011 (○)	<0.00006 (○)	0.0011 (○)	上段:年平均 下段:適否
	勝川橋		0.025 (○)	－ －	－ －	上段:年平均 下段:適否
	水分橋		0.017 (○)	<0.00006 (○)	0.0010 (○)	上段:年平均 下段:適否
環境基準値		生物B	0.03 以下	0.002 以下	0.05 以下	

備考１　庄内川城嶺橋、大留橋、水分橋の調査機関は国土交通省。
　　２　環境基準は、年間平均値により評価。

表６　PFOS及びPFOAの市内公共用水域水質調査結果

地　　点		PFOS (mg/L)	PFOA (mg/L)	PFOS及びPFOA (mg/L)	適否
庄内川	城嶺橋	0.000002	0.000018	0.000020	○
	東谷橋	<0.000002	0.000007	0.000009	○
	勝川橋	<0.000002	0.000007	0.000009	○
鰍川	鰍川橋	0.000002	0.000007	0.000009	○
内津川	松本橋	0.000002	0.000005	0.000007	○
新繁田川	身洗橋	0.000004	0.000004	0.000008	○
繁田川	大気橋	0.000004	0.000006	0.000010	○
新木津用水	高山橋	<0.000002	0.000003	0.000005	○
八田川	新興橋	0.000007	0.000007	0.000014	○
	御幸	0.000003	0.000012	0.000015	○
地蔵川	杁ケ島橋	0.000009	0.000007	0.000016	○
	長塚橋	0.000008	0.000007	0.000015	○
新地蔵川	新地蔵橋	0.000009	0.000007	0.000016	○
大山川	間内橋	0.000004	0.000004	0.000008	○
西行堂川	天王橋	0.000003	0.000004	0.000007	○
指針値				0.000050 以下	

備考１　庄内川大留橋、水分橋の調査機関は国土交通省。調査結果は未公表。

表７　環境騒音（一般）測定結果　　(ﾃﾞｼﾍﾞﾙ)

調査地点	測定結果及び環境基準			
	昼間（6時～22時）		夜間（22時～6時）	
	測定結果	環境基準	測定結果	環境基準
①高座台5	41	55	36	45
②出川町5	48		42	
③六軒屋町3	44		35	
④松河戸町	52		44	
⑤鳥居松町7	43	60	38	50
⑥柏井町1	54		47	
⑦中切町3	52		45	
⑧神屋町	46	55	41	45
⑨玉野町	41		35	

表８　環境騒音（自動車騒音）測定結果

○環境基準調査　　(ﾃﾞｼﾍﾞﾙ)

路線名	調査地点	昼間（6時～22時）	夜間（22時～6時）
一般国道19号	勝川町	67	62
一般国道19号	鳥居松町	65	62
一般国道19号	西尾町	72	69
一般国道155号	気噴町	67	60
一般国道155号	上田楽町	70	68
春日井一宮線	六軒屋町	67	61
春日井長久手線	林島町	66	60
名古屋犬山線	二子町	67	64
高蔵寺小牧線	白山町	66	61
下半田川春日井線	高蔵寺町	64	57
環境基準		70	65

注　測定結果欄の網掛けは、環境基準を超えているものを示す。

○環境基準達成率　　（戸数%）

路線名	起点住所	終点住所	昼間（6時～22時）	夜間（22時～6時）
一般国道19号	勝川町	勝川町	100.0	100.0
一般国道19号	勝川町	勝川町	100.0	100.0
一般国道19号	勝川町	大泉寺町	100.0	100.0
一般国道19号	坂下町	明知町	100.0	78.5
一般国道19号	明知町	西尾町	85.7	85.7
一般国道19号	内津町	内津町	100.0	100.0
一般国道155号	高蔵寺町	出川町	100.0	100.0
一般国道155号	出川町	大泉寺町	100.0	95.8
一般国道155号	大泉寺町	上田楽町	99.5	91.1
一般国道155号	上田楽町	上田楽町	88.2	76.5
春日井一宮線	瑞穂通	町屋町	100.0	100.0
春日井一宮線	町屋町	牛山町	100.0	100.0
春日井各務原線	宮町	町屋町	100.0	100.0
関田名古屋線	上条町	上条町	100.0	100.0
関田名古屋線	松河戸町	松河戸町	100.0	100.0
名古屋中環状線	勝川町	西本町	100.0	99.9
春日井長久手線	八事町	神領町	100.0	100.0
名古屋犬山線	二子町	味美西本町	100.0	99.8
松河戸西枇杷島線	松河戸町	勝川町	100.0	100.0
神屋味美線	神屋町	東野町	100.0	99.6
小牧春日井線	上田楽町	上田楽町	100.0	100.0
高蔵寺小牧線	高蔵寺町	上野町	100.0	100.0
高蔵寺小牧線	上野町	坂下町	100.0	100.0
下半田川春日井線	玉野町	神領町	100.0	100.0
松本名古屋線	松本町	松本町	100.0	100.0
神領停車場線	神領町	神領町	100.0	100.0
名古屋外環状線	篠木町	十三塚町	100.0	100.0
全戸達成率			99.97	99.4

表９　航空機騒音測定結果　　（デシベル（L_{den}））

区分	調査地点	地域類型	測定結果	環境基準	選定理由
常時測定	花長学習等供用施設（花長町）	Ⅰ	63	57	BC
短期測定	味美上ノ町学習等供用施設（味美上ノ町）	Ⅱ	61	62	AC
	勝川南部学習等供用施設（勝川町）	Ⅰ	54	57	BD

注１　選定理由欄の記号は次のとおり。

A：滑走路から近く騒音が高い

B：飛行経路下

C：住宅防音工事助成対象区域内

D：住宅防音工事助成対象区域外

２　測定結果欄の網掛けは、環境基準を超えているものを示す。

PFOS及びPFOAの地下水水質調査結果

○町屋第3水源周辺井戸　　単位:mg/L

調査年度	項目＼調査地点	①西山町地内	②鷹来町地内	③南下原町地内
令和4年度	PFOS及びPFOA	0.000005	0.00010	0.000048
	PFOS	0.000002	0.00010	0.000030
	PFOA	0.000003	0.000005	0.000017
令和5年度	PFOS及びPFOA	0.000006	0.00013	0.000031
	PFOS	0.000003	0.00013	0.000019
	PFOA	0.000003	0.000005	0.000012
令和6年度	PFOS及びPFOA	0.000006	0.000097	0.000032
	PFOS	0.000003	0.000093	0.000020
	PFOA	0.000003	0.000004	0.000012
令和7年度	PFOS及びPFOA	0.000006	0.000069	0.000023
	PFOS	0.000003	0.000066	0.000014
	PFOA	0.000003	0.000003	0.000009
令和8年度	PFOS及びPFOA	0.000013	0.00013	0.000043
	PFOS	0.000005	0.00013	0.000031
	PFOA	0.000008	0.000006	0.000012

○町屋第6水源周辺井戸　　単位:mg/L

調査年度	項目＼調査地点	④岩野町地内	⑤大手町地内	⑥大手町地内
令和4年度	PFOS及びPFOA	0.000038	0.000026	0.000030
	PFOS	0.000003	0.000018	0.000005
	PFOA	0.000034	0.000007	0.000025
令和5年度	PFOS及びPFOA	0.000018	0.000026	0.000022
	PFOS	0.000003	0.000019	0.000011
	PFOA	0.000015	0.000007	0.000011
令和6年度	PFOS及びPFOA	0.000016	0.000029	0.000019
	PFOS	0.000003	0.000021	0.000009
	PFOA	0.000013	0.000008	0.000010
令和7年度	PFOS及びPFOA	0.000011	0.000022	0.000017
	PFOS	0.000002	0.000016	0.000007
	PFOA	0.000009	0.000006	0.000010
令和8年度	PFOS及びPFOA	0.000020	0.000041	0.000044
	PFOS	0.000004	0.000028	0.000023
	PFOA	0.000016	0.000013	0.000021

備考1: PFOS及びPFOAの指針値　0.00005 mg/L以下
採取日:令和8年5月20日

備考2: 調査地点⑥については、令和7年度から地点⑥の直近井戸に変更（井戸の取水状況の都合による）。

備考3: 令和5年度より数値の取り扱い（2物質の濃度の和の算出方法）を見直し（愛知県と統一）。

令和８年度PFOS及びPFOAの河川水質調査結果

調査地点	PFOS (mg/L)	PFOA (mg/L)	PFOS及びPFOA (mg/L)
①庄内川城嶺橋	<0.000002	0.000008	0.000010
②庄内川東谷橋	<0.000002	0.000009	0.000011
③庄内川勝川橋	<0.000002	0.000007	0.000009
④うぐい川うぐい川橋	0.000002	0.000004	0.000006
⑤内津川松本橋	0.000011	0.000019	0.000030
⑥新繁田川身洗橋	0.000025	0.000019	0.000044
⑦繁田川大気橋	0.000004	0.000008	0.000012
⑧新木津用水高山橋	0.000003	0.000004	0.000007
⑨八田川新興橋	0.000019	0.000011	0.000030
⑩八田川御幸	0.000004	0.000005	0.000009
⑪地蔵川杁ヶ島橋	0.000013	0.000007	0.000020
⑫地蔵川長塚橋	0.000011	0.000007	0.000018
⑬新地蔵川新地蔵橋	0.000011	0.000008	0.000019
⑭大山川間内橋	0.000008	0.000005	0.000013
⑮西行堂川天王橋	0.000005	0.000005	0.000010

＜備考＞
PFOS及びPFOAの指針値：0.00005 mg/L以下
採取日：令和８年５月14日

図１　採水地点位置図